

日本鉄鋼協会記事

理事會

昭和48年度第1回理事会 開催日：4月6日。出席者：中野会長，ほか36名。

- 1) 企画委員長，企画分科会主査委嘱の件
岩村英郎君（川崎製鉄）を委嘱することを決定。
- 2) 研究委員長委嘱の件
田中実君（東京工大）を委嘱することを決定。
- 3) 常務委員委嘱の件
池田正君（新日本製鉄），三輪親光君（川崎製鉄）を委嘱することを決定。
- 4) 表彰奨励選考分科会委員委嘱の件
細木，岩村，桑原，高梨，安藤各理事を委嘱することを決定。
- 5) 特別資金運営委員会委員委嘱の件
委員 渡辺，不破各副会長，三島，山岡各前会長，堀川，岩村，田中，細木，佐藤各理事
以上委嘱することを決定。
- 6) 退職年金規程制定の件
4月より実施することを決定。
- 7) 北海道，東北，東海，北陸，関西，中国，四国，九州各支部事業および決算報告の件
各支部より報告がなされた。

編集委員会

第2回和文会誌分科会 開催日：4月13日。出席者：田中主査，ほか11名。

1. 12件の論文審査報告があつた。
2. 鉄と鋼第59年第9号に，論文9件，技術報告1件，技術資料1件を選定した。
3. 60周年記念号について
記念号の編集委員会組織は，編集委員会メンバーで当たり，目次案などについては関係部会にはかるなどして編集を進めることになった。

第2回欧文会誌分科会 開催日：4月23日。出席者：橋口隆吉主査，ほか7名。

1. 4件の論文について審査報告がなされた。

標準化委員会

第20回委員会 開催日：3月28日。出席者：作井委員長，ほか13名。

1. JIS 答申案の審議
昭和47年度に委託されたJIS原案および自主的に作成したJIS改正原案について調査審議され，議決された。
金属材料の引張りラクセーション試験方法，熔融アルミニウムめつき鋼板および鋼帯ばね鋼鋼材
鋼のマクロ組織試験方法
鋼の非金属介在物の顕微鏡試験方法
2. JIS 見直し委託
普通鋼関係5規格，特殊鋼関係2規格，原子力鋼材関

係5規格，鋼質試験関係4規格，機械試験関係6規格，クリープ試験関係3規格の見直し検討結果が説明され，提案通り承認された。

3. その他

48年度JIS新規・改正計画，国際単位系を日本工業規格に採用する件などが検討された。

データシート部会

第12回部会 開催日：3月29日。出席者：田中部会長ほか10名。

データ・シート部会の今後の活動の指針とするためデータ・シート部会のテーマに関するアンケート調査を行なうことになり，アンケートフォームなどについて検討を行なつた。

主な決定事項は次のとおりである。

- イ) JIS規格鋼材別にテーマを記入してもらう。また試験方法などについてもアンケートをとる。
- ロ) アンケート依頼先は約500名とする。
- ハ) アンケートの時期は5月中旬とする。

第14回構造用鋼の機械的性質分科会

開催日：4月19日。出席者：八巻主査，ほか9名。

1. 日本規格協会への報告について
日本規格協会からの補助金をえて，SCr4，SCr22，SCM4，SCM21の4鋼種について，機械的性質の共同実験を行なつてきたが，データがまとまつたので，その報告書の検討を行なつた。

2. 48年度における共同実験鋼種について

共同実験鋼種および担当会社を下記のように決めた。

SNC2	特殊製鋼，愛知製鋼
SNC21	大同製鋼，愛知製鋼
SNCM8	日本特殊鋼，特殊製鋼
SNCM21	三菱製鋼，山陽特殊製鋼
SNCM23	日本特殊鋼，山陽特殊製鋼
SCr2	住友金属，神戸製鋼
SCM2	三菱製鋼，神戸製鋼
ASCM17	大同製鋼，住友金属

第50回機械試験方法分科会（第25回SC9分科会）

開催日：4月17日。出席者：吉沢武男，ほか16名。

1. 分科会活動報告（47年度分）
2. ISO/TC17 活動報告（1972年分）
3. ISO/DIS の審議
DIS/148（Vノッチシャルビー衝撃試験）は，ほぼJIS通りであり，賛成とする。
DIS/1265（Uノッチシャルビー衝撃試験）はSIユニットの変更のみであるため賛成する。
4. 原案委託に関する分科会の設置と構成48年度に引張試験片，引張試験方法，衝撃試験片，衝撃試験方法の4規格が委託されるので，分科会の設置と構成が検討された。

排煙脱硫試験委員会

第9回委員会 開催日: 3月29日. 出席者: 豊田委員長, ほか 18名.

1. 硫安法排煙脱硫試験終了届の確認および通産省監査報告
試験は成功裡に終了したことが確認され, 研究補助金の償還計画の提出が求められていることが報告された.
2. 石膏法試験の進捗状況報告, ならび研究期間延長後の試験計画検討

SO₂ 吸収塔金網の一部が腐蝕損傷したため, これの取替の必要が生じ, 取替完了までの間 50,000~90,000Nm³/hr で予備試験を行なった. 取替は3月1日~11日の間に行なわれ, その後, 調整運転に引き続き, 15,000Nm³/hr の本試験を開始した. このため, 試験期間は本年7月末まで延長された. (認可済)

今回は予備試験結果の報告, 損傷の原因と対策の報告および今後の試験計画の検討を行なった.
3. その他47年度決算報告および48年度収支計画が報告・検討された.

新刊紹介

特別報告書 No 14

「わが国における最近の大形鋼製造技術の進歩」

刊 行 案 内

ご承知の通り, 大形鋼は港湾, 鉄道, 道路, 建設, 造船, 橋梁等用途はきわめて広範にわたっており, 諸産業の経済発展に欠くべからざるものとなっております.

本会では昭和 39 年に大形分科会が設置され 8 年を経過しました. この間各社の共同研究, 技術研鑽の場として, 長年蓄積してきた大形鋼製造技術の発表, 検討が行なわれ, わが国のその製造技術ならびに設備の改善に大きな成果をおさめ, 量産化設備による生産能率の増大, 品質の安定がはかられたことは言うまでもありません.

しかし, わが国にはいまだ大形鋼の製造法, 設備, レイアウト, 工場管理などに関し総合的にまとめられた資料はなく, 大形分科会の資料を集大成することは, 最新の技術情報および将来の技術指針として, 非常に価値あるものと考え, ここに「わが国における最近の大形鋼製造技術の進歩」を発行いたしました.

つきましては下記により販売いたしますので, ご購読下さいますようお願い申し上げます.

1. 定 価 会員 1900 円 非会員 2500 円 (送料本会負担)
2. 申込方法 書名, 所要部数, 送り先, 氏名を記し代金を添え現金書留にてお申し込み下さい.
3. 申 込 先 100 東京都千代田区大手町 1-9-4 経団連会館
日本鉄鋼協会編集課 (03-279-6021)

4. 目 次

- | | |
|-----------------------|-----------------------|
| 1. 1 工場レイアウト | 5. 1 概 要 |
| 1. 2 作業実績 | 5. 2 鋸断機以降のレイアウト |
| 1. 3 要員配置 | 5. 3 鋸断機および冷却床設備 |
| 2. 1 概 要 | 5. 4 鋸断機と冷却床作業 |
| 2. 2 使用材料 | 5. 5 合理化状況 |
| 2. 3 加熱炉設備 | 5. 6 設備・作業上の問題点と今後の方向 |
| 2. 4 加熱作業 | 6. 1 概 要 |
| 2. 5 炉 修 | 6. 2 精整設備 |
| 2. 6 合理化状況 | 6. 3 精整作業 |
| 2. 7 加熱炉における問題点と今後の方向 | 6. 4 合理化の経過 |
| 3. 1 圧延設備 | 6. 5 現状の問題点と今後の方向 |
| 3. 2 圧延作業 | 7. 1 検査組織 |
| 3. 3 圧延設備の保全 | 7. 2 検査方法および検査内容 |
| 3. 4 圧延作業の問題点と今後の方向 | 7. 3 表示・結束 |
| 3. 5 圧延作業の問題点と今後の方向 | 7. 4 検査表示の問題点と今後の方向 |
| 4. 1 概 要 | 8. 1 工程管理 |
| 4. 2 ロール管理の組織と機能 | 8. 2 品質管理 |
| 4. 3 ロール | 8. 3 設備管理 |
| 4. 4 ロール整備 | 9. 1 新日本製鉄八幡製鉄所・軌条工場 |
| 4. 5 ロール軸受 | 9. 2 川崎製鉄水島製鉄所・中形工場 |
| 4. 6 ロール関係の合理化 | 9. 3 日本鋼管福山製鉄所・第二大形工場 |
| 4. 7 ロール管理の問題点と今後の方向 | 9. 4 新日本製鉄君津製鉄所・大形工場 |